

## 公益財団法人 J K A 「2021年度福祉車両の整備補助事業」における 自己評価委員会報告書（議事録）

社会福祉法人阿南淡島会

- 1 開催日時 令和3年8月20日（金）午後4時から  
 2 開催場所 社会福祉法人阿南淡島会・淡島学園会議室  
 3 出席者 理事長、自己評価委員3名（東野監事、内海保護者会会長、数藤法人事務長）。  
 なお、感染予防のため監事と保護者会代表は書面による評価としたため、評価内容を審議する際、法人のサービス管理責任者4名（柏木、山崎、原、森田）が加わった。

### 4 審議内容

#### （1）実施状況の説明

自己評価内容を審議するに当たり、福祉車両導入の経緯・過程、利用状況、職員や利用者の意識調査の結果などについて、次のとおり説明。

##### ① 福祉車両の導入の経緯と過程

淡島学園入所者の高齢化に伴い、車いす利用者が増えてきたが、通院や買物等で外出する際、車いす対応の車両が少なく、複数の車いす利用者が同時に乗車して出かけることができなかった。そこで、JKA様の福祉車両の整備補助事業を活用させていただき、令和3年6月30日に車いす対応の「トヨタ・ノア」を購入し、翌7月1日から供用開始した。

##### ② 利用状況

補助により整備した福祉車両に係る利用状況（令和3年7月）

運行期間	実運行日数	延べ利用者数 (うち車いす利用者数)	利用回数 (うち車いす利用回数)	運行距離
07/01～07/31	13日	60人 (16人)	40回 (14回)	493.7km

法人が所有する車両全体による入所者の通院状況

	区分	令和2年の実績	事前計画	令和3年7月	備考
入所者全体の利用状況	年平均	30.00 回	32.00 回	- 回	入所者数：76名
	月平均	2.50	2.67	1.87	
うち車いす利用者の状況	年平均	42.00 回	46.00 回	- 回	車いす利用者：12名
	月平均	3.50	3.83	2.67	

この度整備した福祉車両について、当初の予定よりも3カ月前倒しで納車となり、7月から供用開始したが、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、通院を含む入所者の全ての外出について必要最小に留めているため、最初の1か月の利用は事前計画の目標値を約3割下回る結果となった。

##### ③ 広報活動

- ・ 7月 1日 法人のホームページに掲載
- ・ 7月19日 週刊「福祉新聞」に掲載
- ・ 7月31日 保護者向け「園だより」に掲載（約100部発行）

#### ④ 職員のアンケート結果

8月上旬、学園において福祉車両を運用する生活支援員や保健師など40名を対象にアンケート調査を実施（回答率100%）。今回の福祉車両配備に77.5%は満足しているが、不満と答えた22.5%の理由は、「車いすを乗せるのに力がある（7名）」「慣れていないので運転しづらい（4名）」などと回答。また、「今後の利用」について、60.0%は積極的に利用すると回答。さらに、「補助目的どおりに活用できているか」との問いに対し、90.0%が「活用されている」と回答する一方、「活用されていない」者10.0%の理由は「車いすが乗せにくい（3名）」「狭い所で運転しづらい（1名）」などの意見があった。

#### ⑤ 利用者の声

8月上旬、学園入所者のうち意思表示できる者を対象にアンケート調査を実施。「新しい車に乗った感想」について、「乗り心地が良い」「通もって乗りたい」といった前向きな回答が寄せられた。また、「これからも乗りたいか」との問いには、全員が「どんどん乗りたい」と回答。さらに、車いす利用者も、これまでより通院が楽になるとの期待感から「どんどん乗りたい」する声が多く聞かれた。

### （2）総合評価について

事前計画に記載した目標値の進捗状況について、上記（1）で説明した内容、書面による意思表示のあった委員2名の意見などを勘案し、次のとおり評価することとした。

入所者の高齢化や疾病の進行に伴い、車いすの利用が増えており、通院の際の送迎に不可欠となっている。この度、補助を受けて整備した福祉車両は、車いすを2脚乗せることが出来ることから、利用者及び職員の負担の軽減が図られることとなり、事業実施の成果があったと判断できる。

また、通院に使用できる福祉車両が増えたことから、急ぎの通院需要にも応えることができるようになり、入所者の健康管理にも大いに役立っていることは評価できる。

さらに、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、利用の制約があるものの、引き続き、積極的な利用に努めることが必要である。なお、学園の活動状況を対外的に発信することが求められていることから、学園のホームページや保護者向け情報紙「園だより」などを活用して、これまで以上に情報発信するよう心がけることが重要である。

以上

今回の自己評価委員会の審議内容及び結果を明確にするため、代表者が署名する。

自己評価委員



